

2024/9/11 ~ 10/31

講座情報



リサイクル銀粘土で
アクセサリーづくり

10/6(日) 10:00-12:00

対象: 小学生とその保護者

定員: 10組 (申込多数の場合抽選)

申込: 9/26(木)まで

ホタテの貝殻で
海の世界を作ろう!

10/26(土) 14:00-15:30

対象: 小学生とその保護者

場所: 10組 (申込多数の場合抽選)

申込: 10/16(水)まで

子どもとためす環境まつり

10/5(土) 10:00-15:00

対象: どなたでも、入場自由

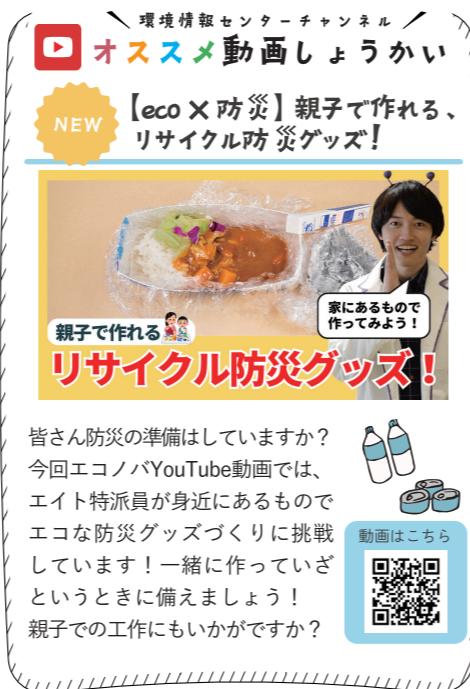
場所: 中央区立豊海小学校

申込: 申込不要



「エコノバ」で人気の
触れる地球儀スフィアが
会場に登場するよ!

今日は段ボールおもちゃの
新作が登場します★
どんなおもちゃかな?
お楽しみに!
◀ 昨年の様子です



皆さん防災の準備はしていますか?
今回エコノバYouTube動画では、
エイト特派員が身近にあるもので
エコな防災グッズづくりに挑戦
しています!一緒に作っていざ
というときに備えましょう!
親子での工作にもいかがですか?

動画はこち
ら



総合環境講座⑤

東京の異常気象、気候変動と
暮らしへの影響

9/18(水) 18:30-20:30

講師: 長谷部 愛 氏 (気象予報士)
申込: 9/16(月・祝)まで

総合環境講座⑥

日本のエネルギーの
「これまで」と「これから」

10/2(水) 18:30-20:30

講師: 木村 浩 氏
(木村学習コンサルタント 代表)
申込: 9/30(月)まで

総合環境講座⑦

身近な自然に目を向けよう!
毎日を楽しく、未来を明るく

10/16(水) 18:30-20:30

講師: 秋山 幸也 氏 (相模原市立
博物館学芸員 (生物担当))
申込: 10/14(月・祝)まで

講座のお申し込み方法

申込方法

窓口・電話・環境情報センターHPのいずれかでお申込みください。
(申込多数の場合は抽選)

※講座の詳細は、環境情報センターまでお問い合わせください。

HPでの
申込は
こち
ら



中央区立環境情報センター「エコノバ」

住 所: 〒104-0031

東京都中央区京橋3丁目1番1号

東京スクエアガーデン6階

電 話: 03-6225-2433

営業時間: 午前9時~午後9時

休 館 日: 年末年始 (12月29日~1月3日)

イベント情報やお役立ち環境情報発信中!みてね!



HP



Instagram



X (Twitter)



YouTube



- 東京メトロ銀座線「京橋駅」3番出口直結
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩2分
- 都営浅草線「宝町駅」A4番出口より徒歩2分
- JR「東京駅」八重洲南口より徒歩6分
- JR「有楽町駅」京橋口より徒歩6分



オータム 10/12(土) 10/14(月・祝)

森フェス

autumn
mori fes

環境情報センター「エコノバ」研修室にて開催
9/11(水)申込開始/全講座受講無料

10/12(土)

間伐材でキーホルダーを作ろう

- ①10:00~10:45
- ②11:00~11:45

対象 小学生とその保護者

定員 各回12組

申込期限 10/2(水)まで



10/13(日)

丸太切りに挑戦!

10:00~12:00

対象 小学生とその保護者

定員 15組

申込期限 10/3(木)まで



10/14(月・祝)

間伐材で工作をしよう!

10:00~11:00

対象 どなたでも

定員 12組

申込期限 10/4(金)まで



多肉植物の寄せ植えをしよう!

14:00~16:00

対象 小学生とその保護者

定員 15組

申込期限 10/2(水)まで



10/12 土 ▶ 10/14 月・祝

10:00~16:00

自由工作コーナー

申込不要

入場自由

木材で自由に作品づくり



【展示】中央区の森

9/1(日) ~ 10/14(月・祝)



「中央区の森」を知っていますか?

中央区は、東京都西多摩郡檜原村において森林保全活動を行っています。

森林の役割や「中央区の森」について学びましょう!

中央区の森って?



森林は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収するという大事な役割を果たしています。しかし、東京近郊にある森林の一部は、適切な管理が行われないまま荒廃が進み、その存続が危ぶまれています。

中央区では、このような森林を荒廃から守り、育てるため、平成18年10月から東京都西多摩郡檜原村において、広域的視点から地球温暖化防止に寄与する事業として「中央区の森」事業を実施しています。



11/9(土)・10(日)

環境情報センター「エコノバ」には、中央区で活動している約40の環境活動団体が登録しています。イベント期間中、環境活動登録団体の日頃の活動成果を展示するほか、環境活動登録団体と環境情報センター「エコノバ」が協働で実施するイベントもあります。

詳細はセンターHPや10/15発行の区報連動チラシをご確認ください。

※11/10(日)は「中央区まるごとミュージアム」のスタンプラリー会場になります。

詳細は同イベントのホームページをご覧ください



生物多様性を知っていますか?

これからの私たちの暮らしと生きものたちとの生活について考えてみましょう!

生物多様性は大切!

地球上には、約3,000万種類の生きものがいると言われており、お互いに関わりあって生活しています。

「生物多様性」とは、生きものたちの豊かな個性と繋がりのこと。

私たちの暮らしは、いろいろな生きものが関わりあう豊かな生態系によって支えられています。

水や空気、食料などは生態系からの恵みなのです。

生物多様性が危ない!



生態系は、お互いに関わりあう多様な生きものが、バランスよく住んでいることによって、豊かさを保っています。しかし、私たち人間の活動を主な原因とする「4つの危機」により、そのバランスが崩れ絶滅したり、絶滅危惧種が増えています。生物多様性がおびやかされています。「4つの危機」とは何でしょうか…?

①開発や乱獲

森林の開拓や海岸の埋め立てなどの開発による生息地の減少や乱獲が原因で種類や数が減少しています。

②自然の放置

雑木林や農地など、管理地が管理されずに放置されたことにより、生きものたちが生息できなくなりました。

③外来種の持ち込み

外来種を自然に放してしまったことにより在来種が生息場所を奪われ減少しています。

④地球温暖化

気温上昇により生息分布の変化や生息環境が失われたことによって、生きものの生息や生育に影響を与えています。

日本での絶滅危惧種について

日本の中だけでも3,772種(令和3年1月時点)の生物が絶滅の危機であり、絶滅危惧種とされています。絶滅危惧種の中でもごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い【絶滅危惧IA類】から日本の有名な動物と減少理由を紹介します。



ツシマ
ヤマネコ

減少理由
生息環境の悪化、
交通事故



トキ

減少理由
明治以降の乱獲や農業の
変化による餌資源の減少



ミヤコ
タナゴ

減少理由
生息環境の悪化や密漁、
外来種による影響



ヤンバル
クイナ

減少理由
外来種による捕食

私たちにできること

「生物多様性にふれて、実感し、身近に感じることから始める」

自然や動物園・植物園で自然や動物と触れ合う、自然や生きものについて自分から発信する、エシカル商品の消費を心がける、動物を守る認証マーク付き商品を選択する、外来種の取り扱いに注意する…など、私たちもできる限り取り組んでいきましょう!

参考:環境省 まもろう日本の生きものたち 私たちにできること <https://www.env.go.jp/content/900491887.pdf>

令和6年度 環境講演会 『生きものってすごい!おもしろい! 生物多様性保全に貢献する動物園・水族館の取り組み』

動物園・水族館は生きものの飼育だけでなく、生物多様性の保全に貢献すべく様々な活動を行っています。そのなかでも生きものの魅力を体験的に学んでもらう教育活動は、動物園・水族館の重要な役割です。

講演会では生きものの魅力をみなさん自身に体感してもらうとともに保全教育における動物園・水族館の取り組みを紹介します。

日時 11/24(日) 14:00 ~ 15:45

対象 中学生以上の方

定員 70人(申込多数の場合区民の方優先)

参加費 無料 申込期間 10/15(火) ~ 11/14(木)

講師 天野 未知 氏

(公益財団法人東京動物園協会
教育普及センター所長)

